

5)脳梗塞のICD10別患者数等【2017年度】

2017年度＜2017年4月1日～2018年3月31日退院患者＞

ICD-10	傷病名	発症日から	症例数	平均在院日数	平均年齢	転院率
I63\$	脳梗塞	3日以内	165	46.29	74.6	0.05
		その他	27	73.26	75	0.07

＜集計方法と定義＞

- ◆対象患者は一般病棟に1回以上入院した、医科レセプトのみの患者です。
- ◆入院後24時間以内に死亡した患者さんは対象外です。
- ◆発症日から「3日以内」「その他」に分けて数値を記載しています。
- ◆症例数が10未満の数値の場合は、－（ハイフン）で表示しています。
- ◆最も医療資源を投入した傷病のICD10コードで集計しています。

【対象患者】

最も医療資源を投入した傷病名のICD10コード(※)がI63\$で始まる症例

※)ICD10コードとは「疾病及び関連保健問題の国際統計分類: International Classification of Diseases and Related health problem (以下「ICD10」と略)」とは、異なる国や地域から、異なる時点で集計された死亡や疾病のデータの体系的な記録、分析、解釈及び比較を行うため、世界保健機関憲章に基づき、世界保健機関(WHO)が作成した分類法です。

【解説】

この数年発症日から3日以内の入院が増加しています。脳卒中は迅速な対応が求められることが多く、救急患者の受け入れも可能な限り行っており、発症後4.5時間以内の超急性期脳梗塞に対しては、積極的に血栓溶解療法(t-PA静注療法)を行っています。

当院では、急性期治療から回復期までの一貫した治療を行なうことができ、患者さんにとって安心した療養生活が送れると考えています。また、回復期では365日リハビリテーションを行い、個人の状態や在宅環境に合わせ、充実したリハビリテーションを受けることが出来、少しでも早く自宅へ退院できるようフォローアップ体制を整えています。

その他、他施設にて急性期治療を終了し、回復期リハビリテーションが必要な患者さんも積極的に受入れています。